

令和2年度 第5回幼稚園等初任者研修報告

11月17日、26日に掛川市立第一小学校、清水町立南小学校を会場として初任者研修会が開催されました。小学校の授業参観や講義を通して、幼児教育と小学校教育とのつながりや小学校との連携の必要性について理解することを目標に行われました。

今回は、会場校の御協力のもと、校長先生はじめ教頭先生、1年学年主任からお話を伺い、特別支援学級を含めた全学年の授業を公開していただきました。

午後のグループワーク1では、「授業参観から学んだこと」をテーマに、次の3つの視点で協議を深めました。

＜視点1＞ 参観した授業や教室内で見つけた子供が生き生きと活動するための支援・工夫について

＜視点2＞ 授業の中で見つけた幼児教育と小学校教育との共通点について

＜視点3＞ 授業の中で見つけた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について

グループワーク2では、自己研修テーマにおけるこれまでの取組について、各自がまとめた実践レポートを基に意見交換を行い、今後、取り組んでいきたいことを確かめました。

終わりに、小学校教育との接続に当たっては、幼児期の育ちが小学校の学びにどのようなつながるか見通すことが求められますが、小学校教育の先取りをすることではなく、その時期の発達段階に応じ、幼児が遊び、生活が充実し、発展するように援助していくことが大切であるとまとめがありました。

【全体会】



県幼児教育推進室長



掛川市立第一小学校長



清水町立南小学校長



静西管内 初任者



静東管内 初任者

【授業参観】



掲示物や環境から教師の支援を探る
(掛川市立第一小学校)



主体的に学びに取り組む子供の様子を記録する
(清水町立南小学校)

【グループワーク】



授業参観から学んだことを出し合う



グループでの話し合いをシェアリングする

【静西管内の初任者の感想から】

- ・第一小学校の先生方の子供たちへの声掛けや接し方、特に子供たちの声をととても注意深く聞いてそれを授業に活かしながら進めている姿に感動した。小学校はもっと教師主導で授業をしていると思っていたが、それは間違いだと気付いた。遊びを重要視し、一人一人の育ちを大切にする幼児教育とたくさんの共通点もあることが分かり、とても勉強になった。
- ・1年生の掲示物の中に、「心のまど」というコーナーがあり、相手の気持ちを言語化したものがあつた。私は3歳児を担当しているが、3歳児は子供同士がトラブルになった時に、しっかり相手の気持ちを受け止め言葉にして伝えることが難しい。気持ちや声の大きさなど、見えないものは視覚的に示していくことの大切さを学んだ。さっそく取り入れていこうと思った。
- ・5歳児を担当しているので、今日の授業参観はとても勉強になった。小学校の学習指導要領にも掲載されるようになった「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を今まで以上に意識して保育をしていきたい。
- ・日々の遊びの中で、幼児自身が自分で考え、様々なことに疑問を持ったり面白さを感じたりすることができるような環境づくりをしていくことで、小学校での学びの力につながっていくことが分かった。友達と相談してルールを決めたり、自分たちで考えて生活をしたりするなど、子供たちの主体性を育めるような保育にしていきたいと思った。

【静東管内の初任者の感想から】

- 南小の先生方の授業の中で、先生方が子供の発言に対し、ゆっくり発表を聞いたりしっかり受け止めたりする姿が多く見られた。温かな雰囲気は、子供たちの発表の意欲や安心感につながっていくのだと感じた。私自身も日々の保育の中で、一人一人の思いをしっかり受け止めたり、じっくり子供たちの声や思いを聴いたりする姿勢を大切にしていきたい。
- 全学年を参観することで、学年ごとの違いや成長の過程を感じることができ、とても勉強になった。自分たちが園で関わっている子供たちが、いずれ小学校へ進み、それぞれの学年で学習し様々な経験を重ねて成長していくつながりについて学ぶことができた。教室内の掲示物からも、学年によって発達段階の違いを感じることができた。
- 私は、日々の保育の中で「話を聞く」ということに力を入れているが、今日の授業やグループワークの中で、子供たちが興味関心を持てば自然に相手の話を聞きたくなるし、集中できることが分かり、自分の保育を見直すきっかけとなった。そして、幼児教育と小学校教育とがスムーズに接続されるよう、目の前の子供たちに様々な経験をさせ、たくさんの感動を味わわせていきたいと思った。
- グループワークの中で、小学校に向けてばかりの話ばかりしてしまったが、今目の前で関わっている子供の姿を一番に、何を大切に、何を身に付け、何を感じてほしいかという保育の本質を捉え違わないようにしたい。

